



同窓会報

NO.12

平成27年
8月1日発行

岩手県立一関第二高等学校同窓会

(旧一関高女・旧市立女子高・旧一関二高・旧一関農高)

〒021-0041 岩手県一関市赤荻字野中23番地1 一関二高同窓会事務局 印刷所 コンカツ印刷(有)
TEL. 0191-25-2242 FAX. 0191-25-5432 (職員室) URL. <http://sekinidosokai.com/>



一関第二高等学校昭和44年3月卒業同期会開催 仲間と共に65歳を祝う会に ご出席の御礼

代表幹事(普通B組幹事) 佐藤 則雄



平成27年5月6日(水・祭日)午後2時より開催の
標記同期会にご出席を賜りまして誠に有り難うござい
ます。盛会にて、お互いの65歳を祝い乾杯する事
にお慶び申し上げます。

恩師:菊地正美先生(A組担任)、熊谷禎子先生(F
組担任)にもご出席を賜り、お元気なお姿を拝見させ
て頂きました。

そして、現在の学校長佐々木啓先生と同窓会担当
川向幸子先生にもご臨席賜り高校の現状等伺う事が
出来ました。本当に有り難うございます。

皆様の当日のご厚意により3年間お世話になりました
母校に気持ちの寄付として約6万円をお渡しする事
が出来ました。幹事一同心より御礼を申し上げます。
今後の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ
ます。70歳の古稀祝いには揃ってお会いできます事

を楽しみに致しております。

次回開催に就きましては、東京オリンピック開催年
2020年を予定させて頂きますが、ご要望等ございま
したら各クラス幹事までお申し出下さい。

また、皆様の名簿等の管理は各クラス幹事が保管
致しております。お問い合わせは幹事までお願いしま
す。



同窓会役員

役職名	氏名	卒業
会長	梶山 隆	農高S45卒
副会長	鈴木 信子	二高S42卒
	千葉 弘毅	二高S45卒
	伊藤 晋	二高S54卒
	石川 聖浩	農高S60卒
監事	阿部 元男	二高S42卒
	木村 孝男	農高S44卒
	佐藤 裕一	二高S53卒

支部役員一覧

役職名	氏名	卒業
仙台支部長	伊藤 善雄	二高S42卒
仙台支部事務局長	猪股 恭四	二高S48卒
盛岡支部長	相原 栄司	二高S35卒
盛岡支部事務局長	阿部 俊雄	二高S42卒
関東支部長	吉廣 克之	二高S34卒
関東支部事務局長	曾部 篤治	二高S44卒
千厩支部長	熊谷 清子	高女S20卒
千厩支部事務局長	永沢 孝子	高女S24卒



ご挨拶

同窓会長 梶山 隆

同窓会会員の皆様には、常日頃より同窓会活動に御協力を頂き感謝を申し上げます。

今年度も定期総会を6月27日に平泉のホテル武蔵坊で開催し、事業報告・決算及び事業計画・予算等について承認を受けました。毎年予算の中から特別会計として積立を行っており、2年後の110周年記念事業実施に向けて、同窓会・PTA・学校の三者での記念事業準備委員会を立ち上げ進めて行きたいと考えております。又、同窓会活動に対しより多くの会員の参加に結びつくよう、活動して行きたいと考えております。

総会終了後の懇親会では、当番幹事の皆さん

が毎年趣向を凝らした余興を行っており、ここ2～3年は、地域芸能として伝わっている鶏舞や民謡などで場を盛り上げ、今年は、一関に古くから伝わる『時の太鼓』の演奏で今まで以上の盛り上がりになったと感じたところであります。

一関二高も明治40年（1907年）に郡立西磐井女子職業学校として創立されて以来、108年目を迎え同窓生も28,900名余りとなりました。

今後も同窓生が各分野で活躍され、卒業生も先輩諸氏を目指しながら躍進されますようお願いしております。又、同窓会への御指導・御支援も今後とも宜しくお願い致します。



節目を越える成長を願う

校長 佐々木 啓

東日本大震災津波から4年が経ちましたが、復興の実感は薄く、人口減少は続いています。少子化に伴い、市内の小中学校も統廃合が進んでいます。

最近、「今後の県立高校に関する地域検討会議」に出席しました。大震災を期に凍結された高校再編等に係る意見交換です。今春の二高入学志願者は3百人弱と県下4番目に多く、今後も地域貢献する高校として存在感を示していけると思います。しかし、教育内容の変更は求められるかもしれません。

会議に出席した近隣首長や団体代表などが、異口同音に求めているのが「グローバル」人材の育成です。確かに、「地球規模の視点と対応力があり、地域社会で活躍する」人材は、時代が求めるものですが、全員が同じである必要はありません。

2年前の8月、北上高地がILCの国内候補地に決定しました。実験・研究施設に加え、研究者と家族の1万人が生活する新たな環境が必要です。世界一流の研究者は2～3千人に達し、東

北大学の理系研究員の倍という凄い人数です。当然、経済効果に留まらず、地元の産業・社会構造や地域文化、教育レベル等々への波及が予想され、差はあるにしても誰もがグローバル化する必要が生まれます。

この状況は、二高生にとって大きなチャンスです。探究心や好奇心にあふれ、異文化に育った新住民との交流が、日常生活や仕事環境を刺激し、隠された能力を発揮する契機になるはずです。一人ひとりのできる範囲での積み重ねが、グローバル化につながり、自身と地域を活性化させると思います。

同窓生の皆さまからは、色々な機会に語り継ぎたい思い出を伺い、母校に対する協力の申し出に感謝しております。2年後は110周年の節目、秋頃には準備委員会で体制を検討し、年度内に実行委員会を設立・開催したいと考えております。

今後とも、本校教育活動に対し皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成27年度総会

6月27日(土)、世界遺産の地平泉にある『平泉温泉元湯ホテル武蔵坊』にて平成27年度の総会が開催されました。当日は梅雨の季節らしくあいにくの雨模様でしたが、中尊寺や毛越寺に代表される歴史ある寺院群とそれと時を共に過ごしてきた高樹齢の杉林、その下にひっそりと咲き始めた紫陽花の花が等しく雨にぬれる風景はとても幻想的で、その杉の木から滴る雨にリズムよく首を垂れる紫陽花の仕草がさながら遠路遙々この地に赴いた同窓生に歓迎の挨拶をしているようでした。当初会場が遠方となったこともあり参加者が少なくなるのではという心配があったものの、総会参加者は77名と例年並みとなりました。しかし、今年卒業した新会員の総会参加者は無く、本総会は学び舎を共にした先輩後輩間の貴重な交流の場であると考えたため来年度はより多くの同窓生に参加いただけるよう案内方法の検討等次回に向けての課題となりました。

総会アトラクションとして本校音楽部による合唱が披露され、会場からは最初に歌われた校歌に「懐かしい!」との声が多く聞こえました。久しぶりに聞く校歌に学生生活を思い出し目を輝かせる方も多く、計3曲からなる構成はあっという間に過ぎてしまいました。

総会に先立ち本会員の物故者に黙祷が捧げら

れ、槻山隆会長、佐々木啓校長のあいさつ後、議長選出においては慣例により本年の当番幹事より佐藤英志さん(昭和53年卒)ならびに千葉健一さん(昭和63年卒)のお二人が選出され、議事進行が行われました。議案については概ね事務局提案の通り承認されましたが、今年度予算案に記載ミスがあったため訂正を行いました。また、記念碑の管理方法についての質問が出され、槻山会長より記念碑建立の経緯および事務局から今後の事業計画の説明がなされ承認されました。そして、盛岡支部事務局長より同窓会会則第10条の記載について「理事会の招集意義を薄めているようにとらえられるため改定が必要ではないか」との意見をいただき、今後事務局等で精査し、必要に応じて修正する等検討し実施することとし閉会となりました。

今年度は関東支部長をはじめ、はじめて参加された会員の方や新聞広告を見て参加された同窓生の方の出席など、情報は確実に伝わっており今後の総会開催について期待できるものがあります。事務局としてはさらに広い世代や地域、職種に従事されておられます同窓生の方々に参加いただけるよう思案し、本総会を貴重な情報交換の場として盛り上げられるよう努力して参ります。今後も皆様の貴重なご意見をお寄せいただければ幸いです。



二高音楽部のアトラクション



活発な質問や意見がありました



議長団による進行

懇親会の様子



時の太鼓顕彰会

宮古から参加された
現役看護師の小柳様
(昭和30年卒)



昭和63年卒の皆さん

総会后、同会場にて懇親会が開催されました。今年度の当番幹事長の若松透さん(昭和53年卒)、副幹事長の齋藤祐二さん(昭和53年卒)、千葉健一さん(昭和63年卒)をはじめとし、来賓の皆様、役員や会員を合わせて72名と多数の参加者のもと賑やかに行われました。余興では一関夏まつり大巡業で有名な『時の太鼓顕彰会』をお招きし当番幹事である千田美夕紀さん(昭和63年卒)自らも参加し、空気を震わす迫力のステージで会場を大いに盛り上げていただきました。本校には関農時代から続く太鼓道場部があり、現在も様々な場所で演舞しておりますが時の太鼓にはその太鼓道場部のOB達が数多く在籍しており、今回演舞して下さったメンバーの紹介では、会長さんをはじめおよそ半数が本校OBということもあって会場はさらに盛り上がりました。本校OBが一関の伝統の一役を担っていることにとてもうれしく思うと共に、地域における本校教育活動の役割を改めて実感した一コマでした。その後、今年度新聞広告をご覧になり出席下さった昭和30年卒の小柳榮子さんが紹介され、先輩としての温かいお言葉を頂戴しました。そして、各年代ごとに集合写真を撮影し中締めとなりました。また、「もっと話したい!」「来年はもっと時間を長くしてほしい!」など時間を惜しむ声が多数聞こえました。次回以降については事務局として更にご満足していただけるよう努力する所存です。

最後に本年度の当番幹事を務めていただきました皆様方のお陰様をもちまして総会ならびに懇親会を盛会のうちに終えることができました。また今年度の会場である『平泉温泉元湯ホテル武蔵坊』では副支配人の菅原弘さん



昭和53年卒の皆さん



常任理事会・事務局他

や多くの本校卒業生が勤務されており多方面にわたり支えて戴きました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

来年度の総会・懇親会は、昭和54年・平成元年3月卒業の皆様が当番幹事となります。それに伴い、本年度の当番幹事の皆様と、来年度の当番幹事の皆様の引き継ぎ会を9月中旬頃に開催予定です。後日ご案内いたしますので、多数ご参加いただきますよう併せてご案内申し上げます。

二高53年同期会

昭和53年3月卒 小 岩 素 彦

悠久の地、平泉で一関第二高等学校定期同総会が開催された。10年ぶりの校歌斉唱。『磐井の川 浪 花影浮かべて…』音楽部の皆さんからフルコーラスの贈り物。美しい歌声が会場を包んだ。

総会は議案の一部に数字の修正があったものの全て承認され懇親の席へ。

幹事長・若松透(S53年卒)からギュギュッと濃縮端麗な挨拶。いざ懇親会スタート。早速、時の太鼓顕彰会による和太鼓演奏が披露され、場内はアッという間に躍動感と拍手の渦。思わず10年前、S53年卒・当番幹事が仕掛けた『松健サンバ』が甦った。

母校への愛着は同窓会から同級会に。会場もホテル武蔵坊から豊隆会館へ模様替え。恩師を招き時間を忘れて48人の旧交を楽しんだ。

今春、磐井川堤防の並木桜が見事に咲き誇った桜は大洪水からの復興シンボルとして戦後に植樹

されたものだ。しかし堤防改修工事のため間もなく姿を消し、川畔の花影も淋しくなる。時の移ろいなので仕方がない。

その昔平泉で『五月雨の降のこしてや光堂』の名句が生まれた。108歳の母校は多くの新入生を育て、心優しく卒業生を見守っている。今回、同級会に参加出来なかった人が多かった。間もなく我々もアレから40年…。来る同級会では青春のアレ・コレ肴に、ナニの醍醐味をつぶやきましょう。

同窓会・同級会に携わって下さった全ての皆さん、包帯姿の生徒さん、現役看護師で福祉施設勤務のOG・小柳榮子さん(S30年卒)、恩師・阿部司先生、高橋可保先生、平間登代子先生、三浦新作先生に心から敬意と感謝をこめて。ありがとうございました。

社会の明日が明るくありますように。



二高63年同期会

昭和63年3月卒 菅 原 敬 二

約1年前、高校部活の先輩から同窓会の当番幹事の仕事を引き継ぎ、この10ヶ月の準備期間を経て素晴らしい同級生スタッフ、53年卒の先輩方、事務局の指導の下、平成27年6月27日に同窓会並びに懇親会が盛大に開催されました。

その後、世嬉の一樣を会場に同期会を開催しました。

佐藤基先生、小野寺誠四郎先生、及川昌三先生、阿部彰先生の4名の恩師の方に出席して頂き、総勢40名で盛り上がりました。

28年ぶりに会う同級生もいる中、みんなよい笑顔で、この10ヶ月間の同級生行方不明搜索(笑)の甲斐があったなあと思いに耽っていると、先生方のあの時の授業中を想わせるお話しに更に懐かしい気分で涙を抑えました。

会も後半になるとお酒の力も働き、元応援副団長のエール、先生指導の校歌斉唱で更に盛り上がりました。卒業式以来の校歌斉唱は感動でした。そして同級生のプロカメラマンによる集合記念撮影。

感動を胸に2次会になだれ込んだのは言うまでもありません。

家庭、職場で重要な立場にいる同級生の皆さん、忙しい中集合して頂きありがとうございました。

10年後の同窓会、同期会は卒業生265名、全員参加を共通目標としたいと思います。

最後に事務局の先生方、53年卒の先輩方、63年農高卒の方々、時の太鼓メンバーの方々、そして優秀な63年卒二高スタッフのみんな、ありがとうございました。感謝申し上げます。



写真提供

総会・懇親会・同期会の全ての写真を63年卒のプロカメラマン阿部和史さんより提供して頂きました。素晴らしい写真を提供していただき、事務局より厚くお礼申し上げます。

studio風集 <http://wind.mods.jp>

農高63年同期会

昭和63年3月卒 千葉 一彦

久しぶりの再会

平成27年6月27日に一関第二高等学校の同窓会及び懇親会が平泉ホテル武蔵坊で盛大に開催されました。

その後、昭和63年度卒業の旧一関農業高校同期会を昨年同様古戦場を会場に午後6時より開催されました。

今年は、残念ながら当時お世話になった先生方は参加せずちょっと寂しいような気もしましたが、それでも卒業以来しばらく会って居ない人達もおり顔見るとお互いその当時を振り返り話題も盛り上がりました。でもなかには「あれ？何となくわかるけど誰だったけ」という声があり自分が持参したアルバム手にその当時事を懐かしみ盛り上がりました。

今回同期会に参加して頂き本当に感謝しております。また次回の同窓会に今回参加出来なかった人とも再会出来るのを楽しみにしております。



時の太鼓顕彰会

懇親会を優勢な響きで盛り上げてくれた「時の太鼓顕彰会」の皆さん。本校OBの柳橋会長を筆頭に多くのOBやOGがご活躍です。一関夏まつりでは2日目を飾る「2代目時の太鼓大巡行」で一関の夏を盛り上げてくれています。



第15回(平成26年度) 関東支部総会&懇親会開催!

副支部長 星 好

(昭和38年3月普通卒)

平成26年度、関東支部の総会・懇親会が9月27日(土)午後、東京大手町サンケイプラザ3階ホールにて開催されました。

出席者は90名、同窓会からは槻山隆会長始め4名、そして学校関係者は佐々木啓校長・平成26年3月卒業担任先生方5名等の出席を賜りました。

新会員(平成26年3月卒業)の6名も出席し、担任の先生方との交流に盛り上がってました事をご報告申し上げます。

総会では吉廣克之支部長(昭和34土卒)の「ごきげんよう」の挨拶から始まり、槻山会長からは同窓会・地域の現状報告があり、佐々木学校長からは二高生徒の活躍ぶりの様子を熱く語って頂きました。

総会終了後は記念写真撮影ですが、大勢で一枚の写真に収まるか心配でしたが曾部事務局長(昭44普卒)の腕前で見事終了。

懇親会に移り、関東支部の長老・金子ひで子さん(昭22年卒)に今年も「江戸かつぼれ」の踊りを皮切りにスタートしました。抽選会では一関の特産物・CD(曲名:一関のひと)等多数の景品が用意され当選者はエビス顔。

老若男女、年齢に関係なく和気藹々と交流が出来「来年もこの会場で会いましょう」と約束を交わした方が大勢とか?唯、残念なのは若い会員の出席が少なく今後の支部の悩みです。

今回は、支部総会&懇親会が継続15回の記念として、会員より「高校の思い出や現在の心境、を



テーマに川柳を募集しましたら70作品も応募がありました。

「清き流れの磐井川上と下で片恋橋」

「同窓会墓場でやれば勢揃い」

「同窓会互いに生存確認す」

「校舎燃えプレハブ授業2年間」

「歴史変わる女の校舎に男くる」と一部ですが紹介させていただきます。

懇親会は時間延長しながらも盛況のうちに、須川音頭を全員で踊り、校歌を斉唱し、「来年も又お会いしましょう」の合言葉で散会となりました。

関東地区に会員の知人・友人の方がおりましたら是非ご紹介下さい。



今年度の総会のご案内

関東支部 総会・懇親会

- ◎日時: 平成27年10月3日(土)
13:00~16:30 (受付12:00~)
- ◎会場: 大手町サンケイプラザ3階
(東京サンケイビル内)
千代田区大手町1-7-2
TEL 03-3273-2258
- ◎会費: 7,000円(当日会場にて承ります)
※平成26・27年3月卒の方は会費無料です。
- ◎お問い合わせ・その他
TEL/FAX 042-923-5496
関東支部事務局長 曾部 篤治 (S44普卒)

平成26年度盛岡支部総会・懇親会開催

支部事務局 小 川 皖 子

(昭和34年3月普通卒)

10月18日(土) 昨年に引き続き、市内「エスポワールいわて」で開催されました。今年度は天候不順な時期にぶつかりましたが、昨年と同じ会場ということで定刻には全員揃うことができました。参加者は昭和26年3月卒の方から平成25年3月卒業の方まで、孫から子までという幅広い年齢層で、本部役員を含め36名と昨年よりも多い参加となりました。座席テーブルも同年代の方をお互い探し合ったりと、まさに二高の歩みの生き字引的雰囲気でした。

総会開催に先立ち、今までに亡くなられた同窓会員並びに関係された方々に対して黙祷が捧げられました。

支部長の柏原栄司さんの挨拶では、田老町を訪問され、津波等被害時に対する日頃の心構えの大切さについて話され、同窓会長槻山隆様からは、関東支部の出席者多数の秘訣や本部役員は改選で留任となったことについて話されました。佐々木啓校長先生は、昨年着任され来年度もおられる予定とのことで、二高を大変誇りとされ、喜んでおられる様子がうかがえました。二高生はやる気はあるけれど「欲」がないそうで、意識改革、活性化を目指して学業に部活に工夫を凝らしておられるようです。今年もアイデアいっぱいの素敵なファイルを頂戴しました。

議事に入り、小山田憲治(昭和35年3月卒)の議長で進行。経過報告・決算・今年度事業計画。予算を無事承認可決いただきました。しかし役員改選は今年度留任となりましたが次回に向けて若返りを目指し、人選することを確認しました。

写真撮影後懇親会へ。古澤タケ子さん(昭和3



3年3月卒)の格調高い日本舞踊で幕を開け、簡単な自己紹介後、支部長さん自ら率先して余興を進行し、カラオケを健康法とされている方々が続々と参加していました。限られた時間がやって来て、復興の歌「花は咲く」、新沼謙治作詞作曲「ふるさとは今もかわらず」を全員でカラオケに合わせて熱唱しました。最後に平成25年3月卒の阿部信也さん、菅原優太郎さんの音頭で校歌を斉唱、気合いの入ったエールで閉会となりました。

高校時代に話せなかった人と話せたと赤ら顔の方、「来年は同級生を連れてきてよ」と盛んに声をかけておられる方等々。皆さん高校時代のお顔になってリフレッシュし、日の落ちないうちに気分よく解散となりました。

同じ校舎、恩師の方々、校風の中に育ったものとして、自分の若返りはもちろんですが、先輩、後輩といろいろな生き方を伝え合っていくのも同窓会の意義のように思えました。

同窓会の輪を広げながら来年もまた元気にお会いしたいものです。

今年度の総会のご案内

盛岡支部 総会・懇親会

- ◎日時：平成27年10月24日(土)
12:00～(受付11:30～)
- ◎会場：ホテルニューカリーナ
岩手県盛岡市菜園2-3-7
TEL 019-625-2222
- ◎会費：4,000円(当日会場にて承ります)
※平成26・27年3月卒の方は会費無料です。
- ◎お問い合わせ・その他
TEL 019-635-1592
盛岡支部事務局長 阿部俊雄(S42普卒)



平成26年度仙台支部総会開催について

支部長 渡 辺 成 子

(昭和43年3月普通卒)

東日本大震災から3年半余り、震災復興も中々思う様には進んでいない中2020年東京オリンピックの開催も決定し、震災復興への影響が出るのではないかと不安を感じている多くの被災者もおられます事、心配しております。

そんな中、26年度の同窓会仙台支部総会・懇親会が10月24日仙台市・パレス平安に於いて開催されました。

参加人数は昨年度より微増ながら43名の参加を頂く事が出来ました。昭和31年度3月卒業生から平成26年度3月卒業生までの幅広い年齢層となりました。残念ながら30代40代の方々の参加者が少なく、次年度はより多くの方々に参加して頂ける様、努力をしたいと思います。(出席者の皆様にお声掛けをお願いいたしました。)

槻山会長、佐々木校長先生からご挨拶を頂き、同窓会への思いや、学校の近況報告をお話し頂きました。私が通学していた頃とはすっかり様変わりしているんだなあ実感しました。

懇親会は昭和31年普通科卒の遊佐さんの乾杯の音頭で始まりました。今年は皆様に学校時代の思い出を話して頂きたくあの頃へプレイバック>と称して思い出を語って頂く事にしテーマを<学校編><職業編><まだまだ負けられない編>と3つに分け、くじ引きで選ばれた方に好きなテーマでお話して頂きました。これまでの人生体験や高校生活の懐かしい思い出、忘れられない出来事など盛り沢山のお話を聞かせてもらい、あっという間に楽しい時間が過ぎました。新卒者の皆様には諸先輩方々のお話を聞いてこ

れからの人生に役立てる事に繋がって行ける事と思います。

要望も沢山出されました。

“折角だから校旗を掲げて欲しい”
“学校の歴史をスラ

イド形式で報告して欲しい”等々皆様のご意見を参考にしてこれからの活動を進めて行けたと思います。

最後は来年も元気に再開出来る様に想いを込めて39年度卒の佐々木応援団長の現役時代を思わせる力強い指揮のもと出席者全員で高らかに校歌を斉唱し盛況の内に閉会となりました。



今年度の総会のご案内

仙台支部 総会・懇親会

◎日時：平成27年10月23日(金)
18:30～(受付18:00～)

◎会場：パレスへいあん
仙台市青葉区本町1-2-2
TEL 022-213-1122

◎会費：5,000円(当日会場にて承ります)

※平成26・27年3月卒の方は会費無料です。

◎お問い合わせ・その他

仙 台 支 部 長 伊 藤 善 雄 (S42普卒)
TEL 022-358-7628

仙台支部事務局長 猪 股 恭 四 (S48普卒)
TEL 022-379-6414



卒業生の進路 (合格者数)

平成27年3月31日現在

平成27年3月 卒業生進路別合格者(延べ人数)

進 学	国公立大学	私立大学	国公立短期大学
	20	76	4
就 職	私立短期大学	看護・医療系専門学校	専門学校
	38	49	68
就 職	公務員	一般企業	福祉関係
	6	28	6

《進学》

〔国公立大学〕

岩手大学(5)、山形大学(1)、福島大学(1)、北海道教育大学旭川校(1)、北海道教育大学函館校(1)、岩手県立大学(9)、秋田県立美術大学(1)、青森公立大学(1)

〔私立大学〕

岩手医科大学(2)、盛岡大学(8)、富士大学(3)、宮城学院女子大学(4)、尚絅学院大学(1)、石巻専修大学(2)、仙台大学(1)、仙台白百合女子大学(1)、東北学院大学(6)、東北工業大学(4)、東北福祉大学(5)、東北文化学園大学(2)、明治国際医療大学(1)、埼玉工業大学(4)、駿河台大学(1)、東京国際大学(1)、日本工業大学(1)、東北芸術工科大学(2)、秋田看護福祉大学(1)、新潟医療福祉大学(1)、鎌倉女子大学(1)、関東学院大学(1)、神奈川大学(1)、東海大学(1)、弘前学院大学(1)、秋田看護大学(1)、青森中央学院大学(1)、八戸工業大学(2)、千葉商科大学(1)、日本大学(2)、ヤマザキ学園大学(1)、国士舘大学(1)、桜美林大学(1)、拓殖大学(2)、東京工科大学(2)、文化学園大学(1)、立正大学(1)、郡山女子大学(1)、札幌学院大学(1)、東京農業大学オホーツクキャンパス(1)、北海学園大学(1)

〔国公立短期大学〕

岩手県立大学宮古短期大学部(1)、山形県立米沢女子短期大学(3)

〔私立短期大学〕

修紅短期大学(7)、盛岡大学短期大学部(7)、宮城誠真短期大学(1)、聖和学園短期大学(5)、仙台青葉学院短期大学(5)、東北生活文化大学短期大学部(2)、実践女子大学短期大学部(1)

〔看護・医療系専門学校〕

水戸医療センター附属桜の郷看護学校(1)、岩手県立一関高等看護学院(5)、国際医療福祉専門学校一関校(2)、花巻高等看護専門学校(9)、岩手リハビリテーション学院(1)、岩手医科大学医療専門学校(1)、岩手看護専門学校(4)、水沢学苑看護専門学校(10)、気仙沼市立病院附属看護専門学校(4)、宮城高等歯科衛生士学院(2)、仙台医療センター附属仙台看護助産学校(1)、東北保健医療専門学校(1)、戸田中央看護専門学校(1)、埼玉医科大

学付属総合医療センター看護専門学校(1)、聖マリアンナ医科大学看護専門学校(1)、亀田医療技術専門学校(1)、二葉看護学院(1)、中央医療専門学校(1)、マロニエ医療福祉専門学校(1)、獨協医科大学付属看護専門学校(1)

〔専門学校〕

盛岡公務員法律専門学校(2)、東北ヘアモード学院(1)、岩手県立農業大学校(1)、上野法律ビジネス専門学校(3)、盛岡カレッジオブビジネス(2)、盛岡情報ビジネス専門学校(1)、北上コンピューターアカデミー(1)、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ(2)、北日本ヘア・スタイリストカレッジ(2)、ファッション芸術専門学校DOREME(1)、宮城調理製菓専門学校(2)、仙台こども専門学校(2)、仙台ビューティーアート専門学校(2)、仙台北リゾート＆スポーツ専門学校(2)、仙台医健専門学校(1)、仙台医療福祉専門学校(5)、仙台工科専門学校(2)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(7)、仙合理容美容専門学校(1)、東京IT会計専門学校(1)、東京法律専門学校仙台校(6)、東北愛犬専門学校(1)、東北電子専門学校(1)、東北動物看護学院(1)、東北文化学園専門学校(1)、日本アニマル(1)、ホンダテクニカルカレッジ関東(1)、東北栄養専門学校(1)、千葉情報経理専門学校(1)、神田外語学院(1)、東京スクール・オブ・ビジネス(1)、東邦学園専門学校(1)、日本工学院専門学校(1)、日本工学院八王子専門学校(1)、舞台芸術学院(1)、服部栄養専門学校(1)、国際メディカルテクノロジー専門学校(1)、国立宮古海上技術短期大学校(1)、岩手県立産業技術短期大学校(1)、盛岡中央ゼミナール(1)、河合塾仙台校(2)

《就職》

〔公務員〕

自衛官候補生(5)、自衛隊一般曹候補生(1)

〔一般企業〕

株式会社長島製作所(1)、一関信用金庫(1)、岩手トヨペット株式会社(1)、株式会社平泉ホテル武蔵坊(1)、イワニチ高速オフセット株式会社(1)、株式会社岩手日日新聞社(1)、株式会社トヨタレンタリース岩手(1)、株式会社金澤電気工業所(1)、株式会社日ビス岩手(1)、日産部品岩手販売株式会社(1)、有限会社光成工業(1)、世嬉の一酒造株式会社(1)、吉田歯科クリニック(1)、日本郵便株式会社東北支社(2)、株式会社大昌電子岩手工場(1)、東北フローズ株式会社(1)、株式会社富士通ゼネラルエレクトロニクス(1)、株式会社国際自動車教習所(1)、株式会社大沢温泉(1)、有限会社ステージワン(1)、株式会社岩手ホテルアンドリゾート(1)、株式会社豊里(1)、野口リゾートマネジメント株式会社山翠楼(1)、株式会社一の坊(1)、株式会社三徳(1)、株式会社ヨークマート(1)、小田急電鉄株式会社(1)

〔福祉関係〕

医療法人三秋会(1)、社会福祉法人つくし会(明生園)(4)、社会福祉法人衣川会(1)

同窓会入会式の様子

平成27年3月1日本校大講義室において平成26年度同窓会入会式が挙行されました。241名の卒業生を代表し佐々木脩人君と小野寺美岬さんが学年理事となりました。

皆さんの同窓会への入会を心から歓迎するとともに、これからのご活躍を祈念いたします。



平成27年度一関二高同窓会年間行事計画

平成27年

4月8日(水)	入学式
9日(木)	同窓会会計監査(本校)
14日(火)	同窓会総会・懇親会第3回当番幹事打ち合わせ会(一関市民センター) 28名
20日(月)	同窓会第1回常任理事会(本校)
5月15日(金)	開校記念日
27日(水)	同窓会総会・懇親会第4回当番幹事打ち合わせ会(一関市民センター)
29日(金)	同窓会理事会(本校)
6月27日(土)	同窓会総会・懇親会第4回当番幹事打ち合わせ会(本校)
6月27日(土)	同窓会総会・懇親会(平泉ホテル武蔵坊) 当番幹事 昭和53年・63年3月卒
8月上旬	同窓会報No12発行
29日(土)~ 30日(日)	二高祭
9月中旬	同窓会総会・懇親会当番幹事引継ぎ会(ホテルサンルート一関) H27年度当番幹事 昭和53年・63年3月卒 H28年度当番幹事 昭和54年・64年3月卒
10月3日(土)	同窓会関東支部総会・懇親会(大手町サンケイプラザ)
23日(金)	同窓会仙台支部総会・懇親会(パレス平安)
24日(土)	同窓会盛岡支部総会・懇親会(ホテルニューカリーナ)

平成28年

2月上旬	同窓会常任理事会(本校)
3月1日(火)	同窓会表彰・入会式
2日(水)	卒業式
6月25日(土)	同窓会総会・懇親会(未定)

平成28年度

総会・懇親会のご案内

日時 平成28年6月25日(土) 午後2時~
会場 (未定)
当番幹事 昭和54年3月卒 平成元年3月卒
会費 4,000円(予定)

※平成27・28年3月卒の方は会費無料です。

編集後記

力強い和太鼓の響き。今年の同窓会懇親会のアトラクションを飾ったのは「時の太鼓顕彰会」の皆さん。その中に、今年度当番幹事の千田さんをはじめ多くの同窓生が居たことは驚きでした。一関夏祭りを象徴する「時の太鼓巡行」の立役者に、同窓生の姿があることは誇らしい限りです。

さて、平成29年は母校創立110周年に当たります。役員会では、今秋から準備会を始動させ、来年度には準備を加速させることとしています。同窓会報は現在、ご寄付を頂いた方々に発送をしておりますが、周年記念事業のひとつとして、全員配布の検討もお願いしております。

同窓生を広く繋ぐ同窓会報。その充実が同窓会の活発化に繋がると言われております。皆様からの情報が何よりの宝、気軽にご連絡いただければ幸いです。(公)

編集委員

編集委員長	佐藤 公基
副編集委員長	須藤 光子
編集委員	菅原 隆幸
//	槻山 隆幸
//	小野寺 壽博
//	吉田 一博
//	川向 幸子